ボーリング柱状図

調　　査　　名　忠生630号線（第二期）地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	3	3	9	3	3	3	2	0	0	5

シートNo.　1

ボーリング名	No.5	調査位置	東京都町田市上小山田町　地内			北緯	35° 36' 34.0920"
発注機関	町田市役所　道路部道路整備課			調査期間	平成29年11月13日～平成29年11月13日	東経	139° 24' 25.5090"
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]
						ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	T.P. 113.27m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	15.34m	使用機種	試錐機	YBM　05-DA2	ハンマー落下用具	半自動型	
			エンジン	ヤンマー　NFD10	ポンプ	東邦地下工機　BG-3C	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	111.57	1.70	1.70		埋土	灰 黄褐			GL-0.00m～0.30m砕石土 GL-0.30m～1.70m粒子均一の砂質土
2 3	109.37	2.20	3.90		砂混じり粘土	褐			含水中位 不均質 含水中位 砂全体に不規則に混入 少量の炭化物混じる
4 5	107.47	1.90	5.80		凝灰質粘土	黄褐灰			含水中位 不均質 粘性中位 GL-3.90m～4.10m礫層挟む φ2mm～φ60mm程度の礫
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	97.93	9.54	15.34		粘土混じり細砂	黄褐灰 赤褐 褐灰			含水中位 粒子ほぼ均一なもの GL-5.80m～5.90mGL-6.00m～6.70m 礫層挟む 8m付近赤褐色 9m付近より褐灰色もどる 所々に固結がみられる
16 17									

粒度試験による土質区分

孔内水位／測定月日：11/13　1.90

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	1/18	1/17		2/35	2
1.50					
2.00	0/53			0/53	0
2.53					
3.00	0/55			0/55	0
3.55					
4.15	2	3	3	8/30	8
4.45					
5.15	2	2	2	6/30	6
5.45					
6.15	8	10	12	30/30	30
6.45					
7.15	9	10	10	29/30	29
7.45					
8.15	4	5	6	15/30	15
8.45					
9.15	6	7	8	21/30	21
9.45					
10.15	8	10	12	30/30	30
10.45					
11.15	11	13	14	38/30	38
11.45					
12.15	15	17	18/5	50/25	50以上
12.40					
13.15	16	18	16/8	50/28	50以上
13.43					
14.15	12	18	20/8	50/28	50以上
14.43					
15.15	23	27/9		50/19	50以上
15.34					

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法	室内試験
2.00	T5-1	Ⓣ	一軸 三軸 物理
2.80			
4.00	T5-2	Ⓓ	一軸 三軸 物理
5.20			
8.15	T5-3	⊖	物理
8.45			
9.15	T5-4	⊖	物理
9.45			

掘進月日：11/13